

「家族との関わりの中で」

伊東市立南中学校三年 田畑 圭悟

あなたには兄弟がいますか。僕には、弟と妹がいます。兄弟がいると、多くのトラブルや不満が生まれます。特に、兄弟げんかは、家族を巻き込む一世一代のトラブルです。

僕の兄弟は、いつも「ゲームの音がうるさい」「ちょっかいを出す」いたずらのような、取るに足らない理由でけんかをします。けんかをすることで、周りにどれだけの不快感を与えるかを考えない二人に、いつも僕は頭を抱えています。二人は、友達との通話中、食事の合間や寝る直前等々、色々な場面でけんかをします。兄だからと我慢はするものの、やはり僕の中にも不満がたまっていきます。

この状況を変えるために、僕が仲裁の方法を変えたいと思います。これまでの僕は、けんかする二人を無理矢理引き離して終わりにしていました。しかし、この方法では、根本的な解決には至らず、けんかの再発を抑えることもできません。そこで、もし、けんかが起きたときには、次の二つのことをしようと思います。

一つは「話を聴くこと」です。なぜ、けんかが起きたのかについて、双方の意見を聴くことを徹底します。きっと二人は、けんかをしたくてしているわけではなく、仲よく過ごしたいはずです。だから、同じけんかが二度と起こらないように、『何が相手を傷つけてしまったのか』『どうすればけんかにならなかったのか』を一緒に考えていきたいと思います。今までの僕のやり方と大きく違う点は、お互いの気持ちをしっかりと「聴く」という点です。二人の話を聴き、けんかの原因を客観的に確認することで、適切なアドバイスができると考えています。一時的に引き離して解決ではなく、再発防止に努めることが大切なのではないのでしょうか。

二つ目は『二人との時間を多くする』です。中学三年生になった僕は、小学生の二人と普段は、必要以上に関わることはありません。だから、もっと僕の二人と関わる時間が増えれば、弟妹だけで遊ぶことが減り、けんかを防ぐことができるかもしれません。もちろん、むやみに監視をしたり、彼らを引き離したりしたいわけではありません。僕は、極力二人の仲の良さを維持しつつ、けんかの数を減らしたいだけなのです。彼らとの時間を増やすことで、二人の緩衝材となり、不必要なけんかを減らしていきたいと思います。

以上の二点について、僕は心がけていこうと考えていますが、これだけでは、二人のけんかを完全になくすことはできません。なぜなら、けんかの原因を根本的になくすには、僕の手力だけでは足りないからです。根本的解決には、何よりも二人の協力が必要です。二人ともけんかをしても楽しくはないはずですが、けんかの原因は、どちらか片方だけにあるものではありません。相手に原因を押しつけるのではなく、自分がどうしたら良かったかを考えるよう促していきたいです。

そして、兄弟げんかをなくすためにどうしたらよいかを考えていくと、これは、いろいろな人間関係においても大切なことであることに気づきました。学校でも社会に出てもいろ

いろな考え方や性格の人がいます。自分とは考え方の違う人たちと上手く関わっていくには、まずは『相手の話を聴く』こと、そして、『相手を知る』こと、つまりは『思いやり』の気持ちが大切なのではないのでしょうか。

僕自身も今後、多くの人と関わる中で、大切にしていきたいと思います。

もちろん、どんなに仲が良い者同士であってもけんかをすることはあるでしょう。しかし、家族同士で罵り合ったり、傷つけ合ったりしてもよいことはありません。僕が、学校で嫌なことがあっても、勉強が辛くても頑張れるのは、大切な家族の存在があるからです。安心して、いろんなことに挑戦できるのは、家族の支えがあるからです。その家族が笑顔で生活できるように、「こういうことをすると相手に嫌な思いをさせてしまう」「この一線は越えてはいけない」ことを考えると同時に、「こうしたらみんなが楽しくなる」とか、『この言葉がみんなを幸せにする』など前向きな行動にも目を向けていこうと思います。

弟と妹の笑顔があふれる毎日に。僕にできることを一つずつやっていこうと思います。